

まなびし

Vol.12
2014.3

「まなびし」・・・すべての人と人がやさしい、あたたかいまなびし
で互いを見つめ、認め合い、誰もが目線を同じにして、相手を思い
やる平等な社会にむけて。



講師 ☆ 山田パンダさん <トーク&コンサート>

…関連記事 P5…

【もくじ】

- P2～P3 素敵な人みつけた！ みよし きらっと☆インタビュー
P4 日本女性会議2013あなん・男女共同参画社会づくりに向けての全国会議
P5 共に生きる女と男のセミナー・ヒューマンフェスタ2014
P6～P7 提言書について・24年25年度活動状況
P8 女性相談案内

素敵な人
みつけた！

みよしきらっとインタビュー



みよし野菜
ロゴマーク...



三芳やさい



★ 魅力発信 これからの三芳町へ... ～6次産業に向けて～

三芳町には、江戸時代の新田開発によって誕生した循環型農業システムの上富があります。全ての地域において何代もの**培い人**によって丁寧に土づくりされた農地があり、そこで本当にまじめに生産されている野菜を消費者に届けたいと思います。“みよし野菜”がもっと広く認知されるよう、いろいろな機会にいろいろな場所で発信していきます。

6次産業に向けては、みよし野菜を使った加工品の開発、流通など多くの課題もありますが、まずは住民のモチベーションを上げることが重要なと考えます。また常設の土産物ショップ等も必要だと思います。



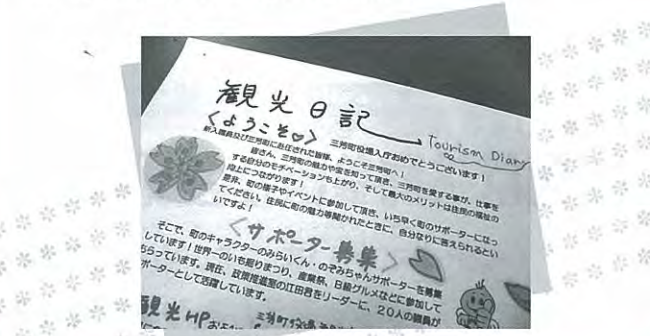
つちかいつちか
★ 培人とは... ★
「培う」とは「土養う」の意。
三芳町では、土を育て、愛情を込めて作物を栽培する農業者を「培人」と呼んでいます。



★ 観光日記...

職員への情報発信をと考え、デジタル化が主流のなかあえて手作りでのPRをしています。一年を通じて三芳町の観光が楽しく伝わればと思い、時期にあったものを定期的に発行しています。日記の内容は、文章は書きとめておいたものやその時の行事などを中心に組み、絵も描きます。

住民の方に向けては、チラシの配布・ホームページやフェイスブック・ツイッター等で常時お知らせをしていますのでご覧ください。多くの方たちに楽しみにして頂けるような「観光日記」になればと考えています。



インタビューを終えて...

● 観光日記のどの号を読んでも、またお話を伺っても佐久間課長の三芳町を見つめるやさしさが伝わってきました。三芳町のまじめな培い人によって生産される野菜たちを6次産業に向けて発展させていきたいという並々ならぬ情熱も感じました。もっとお話を聞きたいと思ううちに時間切れとなり残念でなりません。機会があればまたお話を聞かせて頂きたいと思います。(豊留)

● 初めてお会いした佐久間課長は、女ながらほれほれするような魅力的なハンサムウーマンでした。その仕事の実力と共に、この方なら...という信頼感を持ったのは私だけでなく、委員全ての気持ちだったようで、常にまして発言が活発で紙面に全て収めきれなかったのが残念、笑い渦巻く価値あるインタビューでした。(高橋)

最近、町内だけではなく、町外でも“三芳やさい”のシールが貼られた野菜を目にします。そして、三芳町のホームページには、“観光情報のページ”があり、観光のFacebookで最近の町の動きが紹介されています。三芳町のことが知られていくのは町民としてとっても嬉しいことです。

発信源は、観光産業課...！
課長として、活躍を始めた佐久間文乃さんにお話を聞きました。



観光産業課長 佐久間 文乃さん

★ 管理職としての役割・部下の育成...

課長としての責任・決断があり、時に孤独にもなります。職員の心身は常に気になり、日々の顔色等も意識しています。仕事に関しては、あえて叱咤することもあります。自分は悪役でよいと考えています。今まで関わった部署で「この人嫌だなあ～」と思ったことがなかったのは幸せなこと。自分の部下は家族のようで大好きですが、どちらかという怖い課長ではないかと思っています。

「行政での女性の視点」も重要な課題でもあり、リーダーシップをとり女性職員の意見等をまとめることも必要に感じます。また、家庭状況・職場環境等の問題も抱えていると思うが多くの女性に管理職としての活躍を期待したいです。

部下の育成というより心がけていることは、「心おこし」です。町民のために個々を成長させること・自発的に考える力などを引き出せるサポートをしています。

★ 観光産業課...って！

観光産業課の誕生は平成24年4月。職員9名。(平成25年度) 大きな観光の目玉がない三芳町をどう売り出すか？から始まりました。

観光名所はないが、町の約80%を占める農業振興地域・自然が宝の町・町民が愛してやまない町など特色を生かし、富の川越いも他みよし野菜のブランド化、若手農業後継者の力を借り“産業祭”“世界一の芋掘りまつり”等の事業を行う。一方で公共交通機関の不便さはあるがマイナスをプラスに転換し情報発信をしています。

また、「東京に一番近い町」という立地条件をもとに、池袋を起点に三芳町を知ってもらうため“みよし野菜”を都内へ出店する取り組みも広げ、関越自動車道三芳PA・パーサル三芳を活用させて頂き、自慢のみよし野菜で埋め尽くすことを視野に入れ、地域関係者と共に三芳町を売り出し中です。



私の愛ある...
観光産業課
スタッフで～あ！



★ プライベート...

家庭と仕事の両立はなかなか難しいこともありますが、出張の多かった同い年の夫は、「子どもたちのために自分が...をする～」という気持ちが強く、忙しい中でも家事・育児にも積極的に関わってくれたこと、互いの両親のサポートもあり、大きな問題もなく今まで仕事が続けられたことにとっても感謝している。子どもたちが成人した現在、共通の趣味(旅行)をすること、地元の混声合唱団でクラシックを歌うことなどで癒しの時間を満喫しています。また、ストレス解消におしゃべりは大変貴重。職場の仲間や退職された先輩方との時間も共有できるような食事等の場も非常に大事なものになっています。

家族・仲間や地域に恵まれて生活できていることを大切に、多くの人との出会いを宝物に日々成長していければ良いと感じています。



共に生きる女と男のセミナー

平成25年10月26日
藤久保公民館

《テーマ》『女社長ライフスタイル♪目標を形に…』

今年三芳町で輝いて活動している竹島美香子さんにそのライフスタイルについてご講演をお願いした。

若い頃フリーターとしてさまざまな職業を経験し、その中で興味のある仕事に出会い、ゴルフとバスのコラボ、バスパックを企画し高い評価を受けたこと、2人目を妊娠中に大型2種の免許を取ったこと、こうした積極的な行動が夫や親戚から「とんでもない嫁」と避難され離婚、子持ちで働く大変さを経験しながらも、前向きな意識と行動が今の旅行業につながり会社を立ち上げたと語る。



株式会社 MGC
代表取締役 竹島 美香子さん

経済成長率が高い国は女性の就業率は高いというデータがある。

女性が経済力を持てば消費につながる。しかし、日本では専業主婦を希望する女性も多く、女性の社会進出の困難さについて次のように話された。子供がいるから働けないとは考えない。しかし、男性と同じには働けないことを自覚しながら会社を選ぶ。子育ては一人ではない。ママ友の助けや保育所なども活用しながら、女性特有の柔らかさを活かしていくことが重要と語った。自分が学んできたABCモデル、A(条件)、B(行動力)、C(結果)を部下の育成や子育てに使う。例えば部下の提案に対してA上司は『こんなのだめだな。違うのを考えてこい』と言えば1つしかでない。B上司の『いいねえ。もっとない?』と発想をほめれば部下の提案は次々出てくる。このABCモデルを子育てにも使う。

最後に語った「面倒くさい」と言わない。できるけどやらないが面倒くさいだからという話が印象に残った。7年後のオリンピック関連の仕事をしたいという竹島さんの夢にエールを送りたい。(横山)

…アンケートより…

とてもためになるお話でした。女性でも、頑張れるのだなあと思えるお話でした。

(30代女性)

身近な所で活躍している人が沢山いるんだなあと感じました。

(40代男性)

夢を沢山持つこと(小さい夢が集まると大きな夢になる)という言葉は印象に残りました。

(70代女性)



山田 パンダさん
(ミュージシャン・子どもサポーター・小学校非常勤講師)

ヒューマンフェスタ2014

平成26年2月7日
文化会館 コピスみよし

《テーマ》『生命の尊さを見つめよう ~大人と子ども、おなじ輪の中に~』

サザエさん、ドラエモンのテーマソングで講演会が始まりました。サザエさん一家こそ今日のテーマにぴったり、ドラエもんも子どもの夢がいっぱいです。

山田パンダさんが子どもサポーターとしての活動を通して子ども目線で見たときに、幼稚園・小学校・世の中の動きが子どもに対して寛容でないという事です。例えば、公園には大きな声を出さないで下さいという看板があったり、運動場の子どもたちの声がうるさいと苦情があったり、能率・効率が最優先で、世の中は便利になっているが、何か忘れていてはないかと思う。外から帰った子どもを一日元気で何よりも、とりあえずハグしてあげると子どもの気持ちを感じることができる。抱きしめることも大事なことのひとつです。自分の子ども時代のわんぱくぶりを話されながらも子どもに優しい住みやすいことが一番でないかと、又そうしていかなくてはならないと語られました。

山田パンダさんの人柄で会場は優しさに包まれ、青春の一コマを思い出される70年代の歌も一緒にくちづさみ幸せな時間を会場全員で共有できました。(神奈川)

日本女性会議《男女共同参画》2013 あなん

…いきいき わくわく 小さなまちから新たなステージ!…

平成25年10月11日~12日・徳島県阿南市



市民・企業・行政が、協働のもと男女共同参画で運営する「あなん方式」で30回目の節目を迎えた記念大会は、女性が抱える問題の解決を図るのではなく、男女が尊重し合うより良い社会について考えるがテーマとなった。「女性しか参加できないと思っていた…」この日本女性会議、大会始まって以来男性参加者が全体の2割を占めた。

阿南名誉市民第1号は、紅露(こうろ)みつ氏、日本初の女性代議士(昭和21年~43年)女性の向上に男性の協力を切望し、女子教育問題等23年間に渡り国会で活躍された。

10年もの歳月をかけた阿南大会開催への想い、スタッフからの募金3,500円からのスタートだったことなどを知り熱いものがこみあげた。現在28団体・約5,000名が加入する「阿南女性協議会」の活躍等女性の大きなパワーを感じた。

交流会に向かうバスの中で、新聞紙で作った「エコバック」の話をつた。阿波踊りの大会記事の新聞を増刷し、記事が前面に載る様に作ったとのこと。交流会では、特産の太い竹を割った器に盛られた沢山の料理をいただきながら、全国からの参加者との交流に時を忘れた。暖かいおもてなしの中で、参加者は大いに語り、笑い、踊り、最後に会場全体が一大阿波踊り会場と化し盛り上がった。外に出ると、地元女性花火師による大輪の花火が阿南の夜空を彩り、心に残るひとときだった。

…阿南大会取り組み方針…

- ① できる限りの手作り企画
- ② 経済・財政状況を勘案し、身の丈にあった開催規模
- ③ 阿南の特色を生かし「おもてなしの心」で迎える
- ④ 地方都市の元気を全国に発信

「ちいさな町の大きなちゃれんじプロジェクト」…

私たちに多くの感動と“やる気”を奮い立たせてくれた阿南大会でした。

(志村・浜砂・丸山)



“エコバック”

テーマ 2014日本女性会議…
「未来の景色は、わたしたちが変える」
札幌市で開催!

男女共同参画社会づくりに向けての全国会議

平成25年6月28日
メルパルクホール東京

《テーマ》いまこそ、女性の活躍を!

~みんなで考え、みんなで変える~

“紅一点じゃ、足りない。”

平成25年度「男女共同参画」キャッチフレーズ

『女性の活躍が切り拓く日本の未来』と題し、坂東眞理子 昭和女子大学学長の講演が行なわれました。安倍政権が成長戦略の柱として、「女性の活躍推進」を打ち出した。働く女性の中でリーダーとして活躍する女性の割合が非常に低い日本、“感情的”“危機に弱い”“最後に責任を取らない”など女性リーダーに対する偏見があるのも事実だが、チャンスすら与えられず、経験を積むことができないという状況も発生している。女性も男性も、職場で成長するためには、“機会があり”“鍛えられ”“期待して”という3つの「き」が必要と話された。

女性が社会の一員として、リーダーとなり社会を支えるために「ガールズ ビー アンビシャス…大志を抱け…」とのメッセージが強く心に残った。

仲間を信じ、自分に自信を持ち、臆せず一歩前へと歩んでみようと思う。

(志村・鈴木・丸山)



平成24・25年度 推進会議活動状況

町長との意見交換… (提案・要望等)

推進会議「提言書」の周知。男女共同参画による調和のとれた町政を実現するため、各審議会の所管課に対し女性委員の登用促進。地域、防災、環境その他の分野に男女共同参画の視点を取り入れ、安心・安全な地域づくりへの提案。行政職員の男女共同参画意識を醸成し、全庁的に連携した体制の提案等をした。

男女共同参画による調和のとれた町政を実現するために政策決定の場に女性の視点を…

町長との意見交換会



啓発事業…

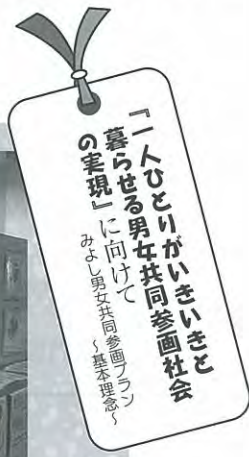
知っていますか？「男女共同参画社会」……。多くの方々にまず知ってもらうために、どこか堅いイメージのある男女共同参画社会を優しい言葉で表現できないものかと模索中のなか、講演会・協働のまちづくりフェスタ・民生委員児童委員協議会より研修の場を頂き、概要・現状及び活動状況をPRしました。

情報の提供…

情報誌「まなざし」年1回の発行(全戸配布)・24年日本女性会議報告集の作成・講演会(年2回)の開催・パネル展(毎年6月)の開催・広報みよし掲載及び勉強会・全国規模の会議へ参加し、国・他県の情報提供をした。

男女共同参画に関する情報等が大勢の方たちの目に留まるよう、役場1階エントランスホールに「男女共同参画情報コーナー」を設置し、情報誌・講演会チラシ等を常備した。

また、各事業開催時には「オリジナルしおり」配布・活動報告の掲示など、情報の共有を行っている。



又エックにて視察研修会



推進会議…

平成14年度に男女平等の推進と男女共同参画社会の形成を目的として設置される。委員定数12名で町との協働により、講演会の開催・情報誌の発行・各種研修会への参加・月1回の定例会等委員相互の情報共有・意見交換を取り入れ活動を行った。

また、国立女性教育会館(又エック)での視察研修の他、推進会議として代表が社会教育委員会・人権推進協議会・社会福祉協議会等に出席している。

「三芳町男女共同参画推進会議」では、次の世代に向けて、一人ひとりが自分らしくいける社会となるためやるべきことを考えました。前回5回目の提言書は、過去10年を振り返って、町政にどう反映されているかをみながら、東日本大震災の教訓と町の防災計画に、多様な人々が関われる視点を提言しました。

6回目の今回は「みよし男女共同参画プラン」の改定に向けて、町の政策、地域、企業で一人ひとりが人として尊重され、生きやすい社会になるよう、新プランの方向性と前回に引き続いて情報の提供やネットワーク作りなど、当面やるべきことを中心に提出を予定しています。

コラム①

提言書ってなあに？

男女平等の推進と男女共同参画社会の形成等総合的な施策に関することなどをまとめ、委員任期終了時の2年目に提言書として町長に提出しています。

コラム②

みよし男女共同参画プランの目標は？

- 目標1 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり
- 目標2 男女がいきいきと暮らせる環境づくり
- 目標3 男女共同参画によるまちづくり

※第2次三芳町男女共同参画基本計画より

1) 策定決定の場に女性の登用の促進

- ・管理職への登用を進めている
- ・審議会等においても女性の参画を進めている

2) 啓発事業

- ・セミナーや協働のまちづくりなどでアピール
- ・民生委員・児童委員協議会で説明

3) 情報の提供

- ・情報誌「まなざし」のほかにもPRできる方法を探る
- ・役場4階の『情報資料コーナー』に資料を設置

平成23年度までの提言書により推進されてきたこと…

4) 行政における意識改革

- ・中間点での総括が終わる
- 『男女共同参画プラン』最終年度は27年

5) 社会的支援

- ・保育所、支援センター等の活動増
- ・地域防災計画の中にも多様なニーズに対応できるよう検討

+(次に進むには…)

行政の取り組み

- ・女性管理職の登用
- ・『男女共同参画プラン』『提言書』について繋がりを持ちながら進める

推進委員の取り組み

- ・『男女共同参画』について学ぶ
- ・『男女共同参画』をより優しい言葉で表現
- ・ターゲットを絞り様々なところで講演
- ・情報提供の場を増やす



平成26年3月 町長に提言書を提出



わたらしいわたし…であるために **ご利用ください!**

みよしまち女性相談

★女性の視点に立った悩み・困りごと相談

- 日 時：毎月第2・4金曜日／午前11時～午後3時30分(予約制)
- 場 所：役場1階 住民相談室
- 相談員：専門の心理カウンセラー(女性)
- 相談料：無料
- 申込み：総務課 人権推進係 TEL.049-258-0019 (内線404・405)

※電話または面談での相談ができます。秘密は固く守ります。
相談員は、女性ですので安心してご相談ください。

平成25年 ●女性相談状況報告●

54件の相談があり、主な内容は、夫婦のこと(11件)・家族のこと(7件)・心身の不安(15件)などが多く、暴力・人間関係がありました。

DV等に関する相談窓口

★夫や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為を、一般的にドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。DVは犯罪にもなる許されない行為です。《**緊急の場合は迷わず110番!**》

実施機関・相談の名称	受付日	受付時間	電話番号
埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県婦人相談センター DV相談担当)	月～土 日・祝	9:30～20:30 9:30～17:00 (年末年始を除く)	048-863-6060
With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)	月～土	10:00～20:30 (祝日・年末年始・第3木曜日を除く)	048-600-3800
警察安全相談 (東入間警察署 生活安全課)	月～金	9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	049-269-0110
埼玉県警察犯罪被害者相談センター	月～金	8:30～17:15 (祝祭日を除く)	0120-381858

平成24・25年度(第6期)

三芳町男女共同参画推進会議委員

神奈川三樹江 齊藤富美江 志村美代子
 鈴木美貴子 高橋昌子 富澤喜代美
 豊留了子 濱砂豊子 丸山千恵子
 山崎和美 横山八重子 渡邊好子

募集中です!

平成26・27年度(第7期)
男女共同参画推進会議委員…
…男性大歓迎…

ご意見・ご感想をお待ちしています。

〒354-8555

三芳町大字藤久保1100番地1
三芳町役場 総務課 人権推進係
「まなざし・お便りコーナー」宛
FAX. 049-274-1055

E-mail:manazashi@town.saitama-miyoshi.lg.jp



編集後記…



もうすぐ春、ふきのとうや土筆、そのあと桜の開花と続きそう…? なのですが、最近の地球の温暖化は、植物の萌芽の時期さえおかしくなりそうです。

今年度は、台風がとても多く影響を受けました。日本女性会議開催の前や「共に生きる女と男のセミナー」の時に2つの台風が関東に影響を及ぼし、おかげで開催が危ぶまれたりもしました。

インタビューでは、役場の女性管理職をとりあげ、いきいきと働き、観光を通しての輝く町、これからの三芳町!を語っていただきました。

また、委員さんたちと嵐山の又エックに視察に行き、元気な説明員さんや講師の方と勉強したりと…たくさん事業を行いました。

委員さんたちは、ここで2年の任期が終わります。本当にご苦労様でした。でもまだまだ、私たちは男女共同参画社会の実現に向けてまい進していきます。

みなさんも益々のご協力をお願い致します。

総務課 島田